

ひょうごらくのうメモ

3

2021 MAR



フルカラー版は組合ホームページからご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

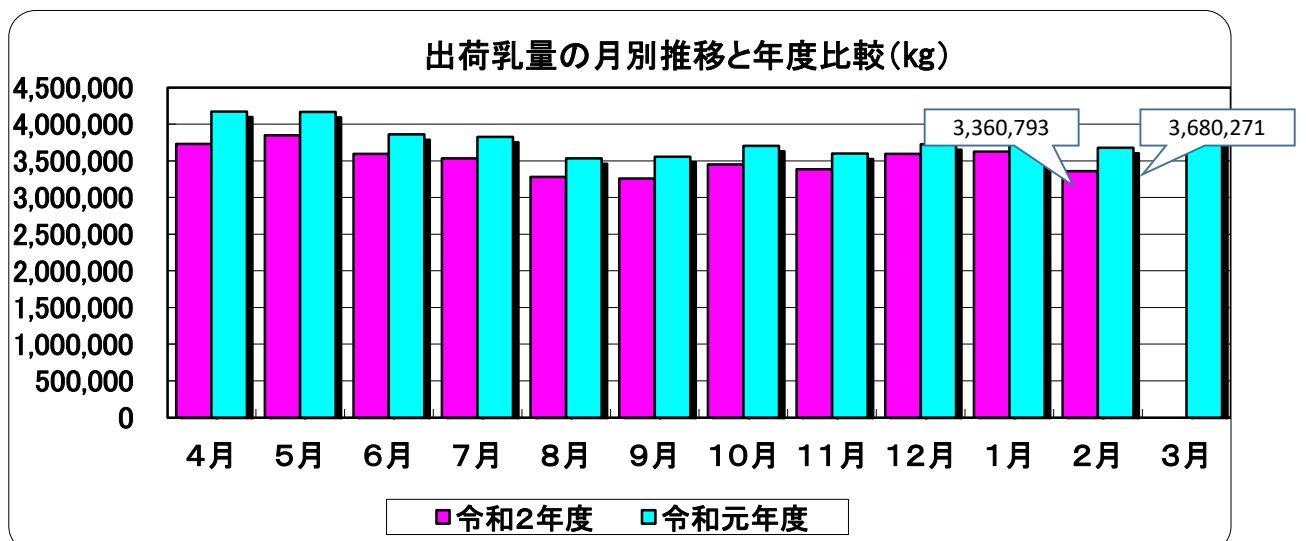
生乳生産統計

1. 全国(令和3年1月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	2年	4月	634.0	101.9
令和	2年	5月	657.2	102.0
令和	2年	6月	623.5	100.7
令和	2年	7月	627.9	100.8
令和	2年	8月	607.4	102.0
令和	2年	9月	589.1	100.9
令和	2年	10月	612.4	101.7
令和	2年	11月	593.7	101.4
令和	2年	12月	622.1	101.0
令和	3年	1月	628.1	100.5
令和	3年	2月		
令和	3年	3月		
令和	2年度	累計	6195.4	101.3

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 3年2月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	560,741	97.1	6,680,568	98.8	23
播州地区	762,473	73.5	8,928,609	74.7	30
丹但地区	300,283	93.4	3,565,879	97.0	16
淡路地区	1,737,296	99.6	19,490,626	101.2	104
合 計	3,360,793	91.3	38,665,682	92.9	173



理事会報告

令和3年2月24日(水)、ZoomによるWEB会議形式にて第12回理事会を理事6名、監事2名の出席の下開催した。各拠点通信状況を確認し、組合長挨拶の後、令和2年度生乳計画生産進捗状況、12月次起点限定決算、酪農管理システム導入の留保について、を報告し次の事項を協議した。

① 集乳に係る合乳の可否について

組合員の廃業に伴う生乳生産の減少が進む中において集乳運賃の高騰が避けられない状況下、近畿販連が進める集送乳合理化に則り、対象路線の集乳に挙げた場合、運賃軽減の度合いや条件によっては生乳の混載を認めることを承認した。

その他の事項として、令和3年度事業計画・収支計画等の組立て、次回役員改選時に向けての役員定数について、生乳廃棄事故発生時の連絡体制・対応等、継続して協議する事とした。

◆ 主な行事予定 ◆

	3月								
	16日	兵庫県民農林漁業祭 実行委員会企画会議(県民会館)							
	19日	岩崎税理士事務所 月次税務監査							
	22日	全酪連ブロック別会長・組合長会議 (WEB)							
		内部管理職会議							
	23日	近畿生乳販連理事会・臨時総会 (WEB・書面)							
	24日	第13回理事会(WEB)							
	25日	全国酪農協会第4回理事会(WEB)							
	29日	兵庫県農業会議臨時総会 酪農経営安定化支援ヘルパー事業 に係る全国推進会議(WEB)							
	31日	年度末棚卸監査 (淡路事業所・兵庫SP・本所)							
4月									
1日		内部職員会議							

管内飼養頭数及び農家戸数の状況

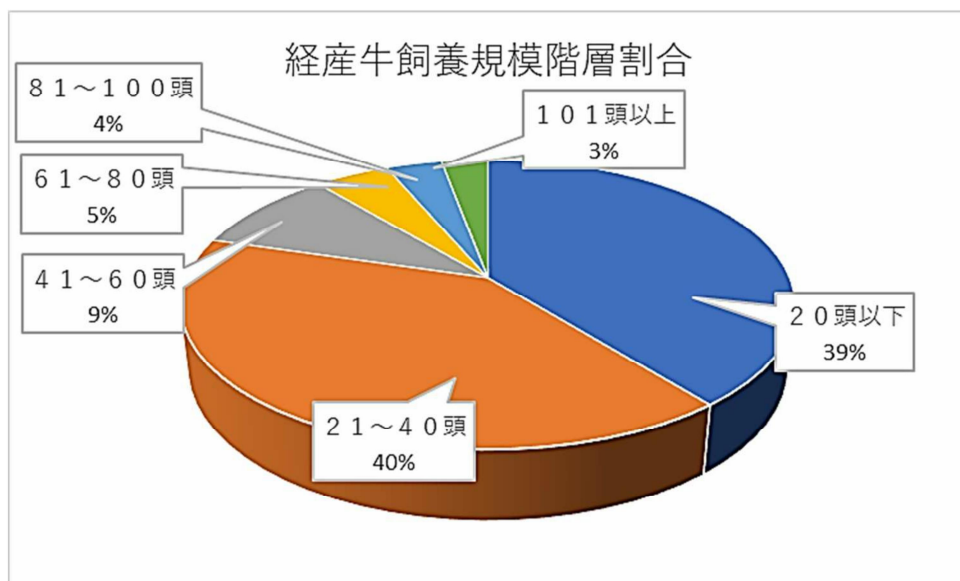
(令和3年2月1日現在)

飼養頭数

	経産牛			育成牛			乳用牛 合計	肥育牛	総合計
	搾乳牛	乾乳牛	小計	初妊牛	育成牛	小計			
阪神地域	838	102	940	124	301	425	1,365	9	1,374
播州地域	988	97	1,085	128	381	509	1,594	9	1,603
丹但地域	410	42	452	93	215	308	760	0	760
淡路地域	2,283	302	2,585	354	1,000	1,354	3,939	46	3,985
公共	55	11	66	17	43	60	126	1	127
合計	4,574	554	5,128	716	1,940	2,656	7,784	65	7,849
前回調査増減	61	-175	-114	-129	90	-39	-153	26	-127

経産牛飼養頭数階層別農家戸数

	阪神地域	播州地域	丹但地域	淡路地域	公共	合計
20頭以下	3	7	6	50	1	67
21～40頭	12	14	6	35	2	69
41～60頭	2	3	3	8	0	16
61～80頭	2	2	0	4	0	8
81～100頭	1	0	1	4	0	6
101頭以上	2	2	0	1	0	5
合計	22	28	16	102	3	171



淡路家畜市場情報

令和3年2月9日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比	
F1 スモール	メス	今回	21	148,500	243,100	15,400			55			
		前回	21	138,338	251,900	24,200			58	10,162	7.3%	
		前年	19	202,226	265,100	149,600			55	-53,726	-26.6%	
	オス	今回	9	139,700	282,700	47,300			54			
		前回	19	204,368	322,300	45,100			55	-64,668	-31.6%	
		前年	117	237,471	330,000	78,100			55	-97,771	-41.2%	
	去勢	今回										
		前回										
		前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比	
ホルス スモール	メス	今回										
		前回										
		前年										
	オス	今回	7	32,529	49,500	6,600			54			
		前回	9	49,867	97,900	1,100			52	-17,338	-34.8%	
		前年	12	86,533	108,900	1,100			53	-54,004	-62.4%	
	去勢	今回										
		前回										
		前年										

* 前は令和3年1月25日・前年は令和2年2月9日

令和3年2月25日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比	
F1 スモール	メス	今回	11	178,500	251,900	53,900			57			
		前回	21	148,500	243,100	15,400			55	30,000	20.2%	
		前年	26	163,265	237,600	9,900			55	15,235	9.3%	
	オス	今回	12	236,592	332,200	103,400			55			
		前回	9	139,700	282,700	47,300			54	96,892	69.4%	
		前年	18	216,578	320,100	14,300			57	20,014	9.2%	
	去勢	今回										
		前回										
		前年										

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比	
ホルス スモール	メス	今回	1	8,800	8,800	8,800			57			
		前回										
		前年										
	オス	今回	9	59,033	84,700	6,600			52			
		前回	7	32,529	49,500	6,600			54	26,504	81.5%	
		前年	11	47,500	6,000	3,300			54	11,533	24.3%	
	去勢	今回										
		前回										
		前年										

* 前は令和3年2月9日・前年は令和2年2月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
30年次	114,925	931	128,634	1,548	104,980	265	135,573	106,027	
元年次	106,358	965	115,241	1,509	89,826	324	119,245	101,375	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
2	1	72,711	79	88,802	107	78,414	35	99,312	8,429
	2	96,692	71	84,897	123	65,956	25	116,657	7,445
	3	95,530	84	72,800	99	56,203	32	127,152	8,407
	4	106,801	76	89,371	138	83,952	25	112,406	7,965
	5	127,344	56	129,737	70	137,561	18	130,030	6,357
	6	170,661	41	136,631	62	141,300	11	138,565	7,411
	7	146,517	71	133,018	94	157,942	12	115,992	7,780
	8	102,714	77	102,638	91	102,457	21	99,222	8,000
	9	95,278	112	85,488	134	93,384	19	87,265	8,890
	10	73,842	93	73,842	155	62,407	30	86,093	8,390
	11	76,546	75	79,362	122	93,412	25	103,054	7,790
	12	81,180	85	81,802	115	87,323	26	102,168	8,559
3	1	74,951	73	83,781	140	69,300	26	95,228	7,994
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
30年次	265,098	3,642	265,355	4,560	306,156	2,420	257,799	150,900	
元年次	299,511	4,603	297,920	4,355	341,703	1,764	277,802	150,447	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
2	1	255,373	517	251,538	374	288,876	218	220,601	14,628
	2	240,332	538	222,488	359	257,248	173	227,973	13,156
	3	195,549	683	182,171	323	217,338	195	213,626	14,189
	4	220,787	488	208,505	391	227,987	169	204,339	13,884
	5	248,271	371	233,626	307	321,956	259	212,946	12,042
	6	290,724	415	276,787	306	296,717	132	225,857	13,406
	7	280,087	317	273,679	388	308,247	129	212,006	12,846
	8	240,193	426	251,646	343	295,730	136	185,153	13,410
	9	225,134	661	204,877	354	252,876	115	159,132	15,955
	10	202,868	559	175,313	466	223,767	172	136,432	16,775
	11	192,909	522	177,306	352	236,161	201	157,694	15,086
	12	203,071	530	172,839	419	244,046	215	162,807	16,856
3	1	176,878	569	167,562	375	209,403	218	153,326	16,059
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

北海道乳牛産地情報

(令和3年3月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	42～52	やや弱含み	札幌管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で95.1%、累計で100.1%、苫小牧管内月計で99.6%、累計で100.5%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分分娩が中心となります。2月の同地域の乳牛市場は上場頭数が多くありましたが、春分分娩ということもあり、相場は強含みに推移しました。3月は引き続き春分分娩の牛が中心に上場するため、横這いの相場になると予測されます。資源状況としましては、F1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われま。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。
	初妊牛	70～80	横這い	
	経産牛	45～55	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	47～52	やや強含み	根釧管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.6%、累計で100.9%、中標津管内月計で101.1%、累計で101.8%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分分娩が中心となります。2月の管内乳牛市場が弱含みとなったところが多かったため、庭先購入価格も同様の動きを見せるものと思われま。腹別では、和牛受精卵移植腹は高値を維持、F1腹・雌雄選別腹がやや弱含みの動きとなるものと予想されます。F1腹・雌雄選別腹どちらも資源状況は十分に確保できるものと考えています。産歴の少ない経産牛は横這い、2月の管内育成市場がやや強含みとなったため、育成牛は同様の動きとなるものと思われま。
	初妊牛	75～83	やや弱含み	
	経産牛	45～55	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	42～52	やや弱含み	帯広管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.5%、累計で103.5%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月～6月上旬分娩が中心となります。2月の管内乳牛市場は、多くの頭数が上場しましたが、道内・府県ともに初妊牛需要があり、相場はやや強含みに推移しました。3月は引き続き春分分娩が中心となるため、帯広管内の庭先購入も横這いに推移するものと予想されます。資源状況としましては増加傾向にあり、F1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われま。腹別では、雌雄選別腹に比べてF1腹の方が、引き合いが強い状態です。また、産歴の少ない経産牛は高値で取引されており、3月の庭先購入価格も堅調に推移するものと思われま。
	初妊牛	75～85	横這い	
	経産牛	50～60	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	42～52	やや強含み	道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.6%、累計で100.0%、北見管内では月計で105.4%、累計で104.6%の実績となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分分娩が中心となります。資源頭数としては前年並みから微増で推移すると思われま。が、F1腹・雌雄選別腹の需要が堅調であり、規模拡大農家の需要も続いているため相場は横這いで推移するものと思われま。育成牛については春分分娩可能な牛の需要が多く、やや強含みで推移すると思われま。経産牛については出回り頭数の少なさと堅調な需要により、横這い以上で取引されるものと思われま。
	初妊牛	74～84	やや強含み	
	経産牛	42～52	横這い	
道内 総括	育成牛(10-12月令)	42～52	やや弱含み	道内の2月中旬までの生乳生産量前年比は101.8%、累計で102.3%の実績となっております。道内各地域の生乳生産状況は、好調を維持しております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分分娩が中心となり道内・都府県ともに需要が高まる時期のため、相場は高値を維持することが見込まれ、先月に引き続き堅調に推移するものと思われま。資源状況は、各地域増加傾向であるため例年並み以上の頭数は十分に確保できる見込みです。今後、大口導入などにより相場変動することもあるため、市場動向を注視しながら、庭先選畜購買を中心に優良な搾乳用素牛を供給して参りますので、購買計画がございましたら弊会担当者までご連絡頂きますよう宜しくお願い致します。
	初妊牛	75～85	横這い	
	経産牛	45～55	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(01654)2-2368

北海道乳牛生産地情報

(令和3年3月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
木山幌管内	育成牛(10-12月令)	4.2～5.2	やや弱含み	札幌管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で95.1%、累計で100.1%、苫小牧管内月計で99.6%、累計で100.5%の乗継となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分娩腹が中心となります。2月の同地域の乳牛市場は上場頭数が多くありましたが、春分分娩ということもあり、相場は強含みに推移しました。3月は引き続き春分分娩の牛が中心に上場するため、横這いの相場になるかと予測されます。資源状況としては、F1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できていると思われまます。出回り頭数は少ない地域ではあります。優良牛や高能力牛の多い地域でもありまますので、ご希望がございましたらお問い合わせください。
	初妊牛	7.0～8.0	横這い	
	経産牛	4.5～5.5	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	4.7～5.2	やや強含み	秋釧管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で100.6%、累計で100.9%、中標津管内月計で101.1%、累計で101.8%の乗継となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分娩腹が中心となります。2月の管内乳牛市場が弱含みとなったところが多かったため、逆先購買価格も同様の動きを見せるものと思われまます。腹別では、和牛受精卵移植腹は高値を維持、F1腹・雌雄選別腹がやや弱含み、F1腹・雌雄選別腹との動きとなるものと予想されまます。F1腹・雌雄選別腹どちらも資源状況は十分に確保できていると考えています。産歴の少ない経産牛は横這い、2月の管内育成市場がやや強含みとなったため、育成牛は同様の動きとなるものと思われまます。
	初妊牛	7.5～8.3	やや弱含み	
	経産牛	4.5～5.5	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	4.2～5.2	やや弱含み	帯広管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で103.5%、累計で103.5%の乗継となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月～6月上旬分娩腹が中心となります。2月の管内乳牛市場は、多くの頭数が上場しましたが、道内・府県ともに初妊牛需要があり、相場はやや強含みに推移しました。3月は引き続き春分分娩が中心となるため、帯広管内の逆先購買も横這いに推移するものと予想されまます。資源状況としては増加傾向にあり、F1腹・雌雄選別腹ともに十分に確保できるものと思われまます。腹別では、雌雄選別腹に比べてF1腹の方が、引き合いが強い状態です。また、産歴の少ない経産牛は高値で取引されており、3月の逆先購買価格も堅調に推移するものと思われまます。
	初妊牛	7.5～8.5	横這い	
	経産牛	5.0～6.0	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	4.2～5.2	やや強含み	道北管内の2月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で98.6%、累計で100.0%、北見管内では月計で105.4%、累計で104.6%の乗継となっております。 3月の初妊牛動向といたしまして、5月分娩腹が中心となります。資源頭数としては頭年並みから微増で推移すると思われまます。育成牛については春分分娩の需要が堅調であり、規模拡大農家の需要も続いているため相場は横這いで推移するものと思われまます。育成牛については春分分娩可能な牛の需要が多く、やや強含みで推移すると思われまます。経産牛については出回り頭数の少なさと堅調な需要により、横這い以上の生乳生産量前年比は101.8%、累計で102.3%の乗継となっております。道内各地域の生乳生産状況は、府内を維持しております。
	初妊牛	7.4～8.4	やや弱含み	
	経産牛	4.2～5.2	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	4.2～5.2	やや弱含み	3月の初妊牛動向といたしまして、5月分娩腹が中心となり道内・都府県ともに需要が高まる時期のため、相場は高値を維持することが見込まれ、先月に引き続き堅調に推移するものと思われまます。資源状況は、各地域増加傾向であるため例年並み以上の頭数は十分に確保できる見込みです。今後、大口導入などにより相場変動することもあるため、市場動向を注視しながら、逆先選着購買を中心に優良な搾乳用素牛を供給して参りますので、購買計画がございましたら弊会担当者までご連絡頂きますよう宜しくお願い致します。
	初妊牛	7.5～8.5	横這い	
	経産牛	4.5～5.5	横這い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の逆先選着購買による予想相場です。

逆先選着購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《各事務所電話番号》
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(0165)42-2388

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がございましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

令和3年3月10日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

農林水産省・植物検疫統計によると1月に日本に輸入された主要乾牧草は軒並み前年の数量を下回っています。特にPNWからの輸入が主となるアルファルファとチモシーの数量が前年を大幅に下回っており、米国からの低調な出荷に加え大幅に遅れた本船スケジュールの影響を受けています。

	2020.1	2021.1	前年比	差
米国産アルファルファ	32,390	24,212	75%	-8,178
米国産スーダン	23,561	18,778	80%	-4,783
米国産チモシー	30,716	18,861	61%	-11,855
豪州産オーツハイ	34,984	31,296	89%	-3,688
合計	121,651	93,147		-28,504

(出典：農林水産省・植物検疫統計、単位：トン)

北米各港の混雑状況に改善は見られていません。ロサンゼルス港、ロングビーチ港の沖合では、引き続きおよそ30隻が滞船しています。遅れている本船スケジュールを取り戻すために、各船社は3月も本船減便を発表しており、そのしわ寄せにより船腹が一層逼迫しており、希望入船日に沿った船腹予約の確保が難しくなっています。

ロングビーチ港によりますと、コロナ感染拡大前まではロングビーチからの空コンテナ回漕率は50-60%でしたが、空コンテナ不足が顕著になってきた昨年10月からは回漕率が10%増加しおよそ70%で推移しており、各船社引き続きアジア向けを中心に空コンテナの回漕に注力していることが分かります。また2月は旧正月前に中国から積出された貨物が多く米国に輸入されており、未だに港の混雑解消の兆しは見えていません。

一方でコロナ感染により港湾労働者が不足しているロサンゼルス、ロングビーチでは港湾労働者は優先的にワクチンを受けることができる“エッセンシャルワーカー”として認定されたため、2月中旬から労働者へのワクチン接種が開始されています。

アルファルファ、チモシーが多く出荷されるPNWも同様に本船の大幅なスケジュー

ール遅延や空コンテナ不足、スケジュール調整による減便の影響で、船腹が逼迫しています。またPNWから日本への経由地となるバンクーバーは引き続き荒天の影響を受けており港沖合で2-3週間近く滞船するため、日本への到着が大幅に遅れています。

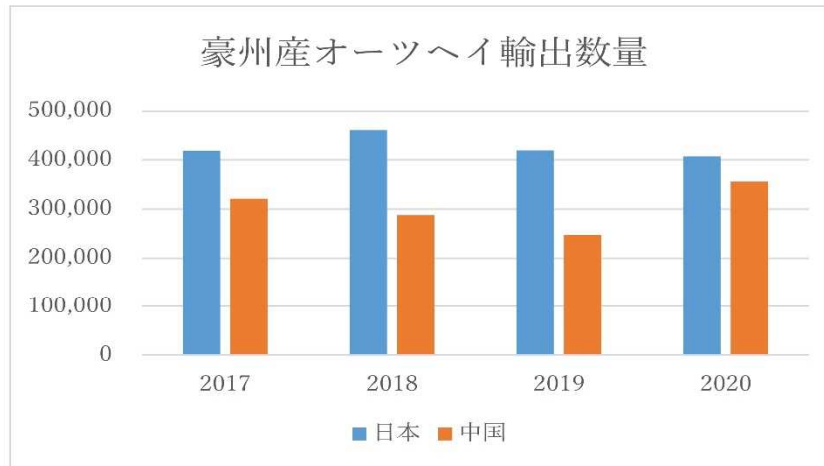
海上運賃に関して各船社は、2月にGRI(海上運賃一斉値上げ)を実施しており、1コンテナあたり200ドル~300ドル程度上昇しています。3月も同様に、各社からGRIアナウンスがされており、輸入粗飼料価格を押し上げています。

中国の酪農情勢

米国農務省(USDA)の報告書によると21年の生乳生産量は3,450万トンと予想されており、生産性の向上と伸長する乳製品の需要を背景に20年よりも5%増加する見込みです。経済成長に伴い食文化の西洋化が進み、乳製品消費量も増加しているため、コロナ渦でも中国国内の乳価は高い水準にあります。

中国では、過去10年で大手乳業会社直営の牧場が増加しており、100頭以上の規模の生産者は国内酪農家の70%を占めています。政府からも規模拡大に向けた設備投資に助成金が出ており、資本力のある大型農家の規模拡大が進む反面、小規模農家の戸数は割高な飼料コストと、生体の改良が進まず生乳生産性が低いいため、所得が上がり減少傾向にあります。

20年に中国は大規模農家向け中心に豪州オーツハイを年間355,734トン、北米からアルファルファを1,181,623トン輸入しており、豪州、米国双方の産地で存在感を強めています。需要は日本向けと同様に、上級品が中心となっており、産地相場を下支えしています。中国大手の飼料会社関係者によると、中国国内では60-80万トンのオーツハイの自給生産があるものの、総じてWSC(水溶性炭水化物)含量が豪州産と比較して低く品質が劣るため、自給されたオーツハイは育成牛等に給与されており、豪州産のオーツハイは、生乳生産量増加のため搾乳牛向けに給与されています。現在中国国内の乳価が非常に高いことから今後も豪州産オーツハイ及び米国アルファルファは上級品を求める動きは続くものと見られています。昨年2月に米中合意により中国への輸出が解禁された米国産チモシーについては産地相場が高止まりしていることから、中国からの引き合いは弱く、輸出量は限られた数量となっています。



(豪州産オーツヘイ輸出数量推移 日本 vs 中国 出典：豪州統計局)

ビートパルプ

【米国】

米国中西部及び東部を襲っている寒波により保管されているビートが凍結し、工場での製糖作業に遅れが出ています。またこの寒波は鉄道輸送にも影響を及ぼしており、工場からビートパルプを出荷するための貨車が大幅に不足しています。

製糖作業終了は当初の見込みより遅れており、クリスタル地区では4月中旬、ノースダコタ州のミンダック地区では4月下旬、サザンミネソタ地区は5月中旬ごろとなっています。

アルファルファ

ワシントン州

米国農務省より3月5日に発表された輸出統計によると、シアトル、タコマ港から1月に世界各国に向け出荷されたアルファルファの輸出量は55,887トンとなっており、1月に出荷された過去5年平均の68,486トンに比べ81%に減少しています。これは米国西海岸全域で行われ、大きな混乱を招いた15年1月の港湾ストライキ時と同等レベルの輸出量(56,616トン)となっており、各輸出業者、船積み手配に苦労しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレー及び周辺地域では、早い圃場で21年産1番刈の収穫が開始されています。この時期に生産されたものは気温が低い中収穫されたため、十分に乾燥できず、主に内需向けに供給されます。20年産の上級品在庫は

中国向けを中心とした輸出業者の需要が引き続き強いことに加え、内需も穀物相場高からアルファルファの供給量を増やしており、産地相場は昨年同時期に比べ若干強含みで取引されています。

インペリアル群灌漑局から発表になった2月15日時点のアルファルファの作付面積は147,040エーカーと前年同期比106%となっており、この数字は過去10年を見ても高い水準の作付面積となります。

米国産チモシー

20年産の1番刈は上級品の発生が限定的になり価格は高騰しましたが、引き合いは堅調です。出荷についてはアルファルファ同様各輸出業者、船腹手配に苦慮している状況です。

スーダングラス

産地の生産者は地表の温度を確認しながら、21年産早播きスーダンの播種に備えており、順次播種は開始される予定です。産地の20年産の在庫は輸出業者によっては、すべて成約済みとなっており、新規での追加買いは難しい状況です。

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

産地灌漑局発表の2月15日付のエーカレッジレポートによりますと、クレイングラスは昨年同期比89%となる19,755エーカーが作付されています。作付面積は減少しており、他の換金性の高い作物への転作が進められています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

2月に米国農務省（USDA）から21年産の作付面積予想が発表になりました。21年はアニュアルライグラス、フェスキューともに前年比4,000エーカー減少、ペレニアルライグラス1,000エーカー程度の増加が見込まれています。

15年から作付面積を比較すると、ペレニアルライグラスは42%減少しており、競合作物となるヘーゼルナッツが置き換わるように増加しており、15年に34,000エーカーであったものが直近では60,000エーカーを越す面積が作付けされています。

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
アニュアルライグラス	123,000	118,000	118,000	110,000	122,000	119,000	115,000
ペレニアルライグラス	97,000	87,000	77,000	75,000	60,000	56,000	57,000
フェスキュー	140,000	127,000	125,000	131,000	149,000	161,000	157,000

（出典：USDA 単位：エーカー）

カナダ産チモシー

アルバータ州南部レスブリッジでは、2月の中旬に非常に強い寒波があったために、輸出業者によっては一時工場の生産が停止しました。この寒波は交通網にも影響を及ぼしており貨物の輸送に遅延が発生しています。また空コンテナ不足と、度重なるバンクーバー港への本船寄港の遅れから、工場の生産スケジュールに遅れが出ており、出荷の遅延が生じています。この影響で現在、工場の生産スケジュールが逼迫し、4月上旬まで新規オーダーの受付ができない輸出業者も出ています。

豪州産オーツハイ

輸出向けは引き続き強い需要が続いており、輸出業者によっては製造能力を上回るオーダーを受注しており、7月まで製造スケジュールが埋まっている状況です。輸出業者によると日本からの堅調な需要に加え、中国からの旺盛な引き合いから当初の予定よりも早く在庫が消化されています。

豪州コンテナ船情勢

各船社は3月に引き続き4月も海上運賃の値上げを示唆しており、北米航路同様、海上運賃は毎月値上げされています。海上運賃上昇に加え、多くの船社はフリータイムが長く輸出先でコンテナが滞留するリスクがある牧草の取り扱いに消極的で、牧草以外の貨物が優先して船積みされるケースが増えています。各輸出業者、顧客からの需要を満たすため、通常では活用しないような海上運賃の高い航路/船社を駆使し出荷対応しています。

以 上



乳用牛改良情報



兵庫県農業協同組合
生産指導部 指導購買課
《2021-2》

【国内精液評価成績】

総合指数順 (N T P)

NTP 順位	略号	種雄牛名号	寿命産乳効果 (円)	乳代効果 (円)	総合指数 (GNIP)	生産能力のEBV(推定価値)					体型のEBV			血統情報		管理形質		性別別 精液			
						M (kg)	F (%)	F (kg)	SNF (%)	PRT (%)	体脂肪率 (%)	乳房 体積	乳房 体積	乳房 体積	乳房 体積	体細胞 スコア	父牛		母系祖父	産子数	在群期間 月数
1	JP5H57685	ヒュアソウルピジョンSI ハウル ET	95,308	95,308	2,730	6.72	72.046	73.019	41.019	-0.45	0.50	0.22	1.55	0.91	2.01	シルバ-	マツチエン	7	101	-0.39	◎
2	JP3H57600	レツスター キングピン サム ET	87,774	118,631	2,699	1,052	58.016	96.011	42.007	-0.10	0.50	-0.23	1.40	0.93	1.54	キングピン	ロハスト	5	101	2.32	◎
3	JP3H57288	クリンエンジェル ラーグスタ JC スタ- ET	74,742	88,341	2,653	662	55.034	86.042	50.032	0.33	-0.03	0.23	0.54	0.36	1.22	ジェイク-	フレイズツク	8	101	-0.22	◎
4	JP3H57607	デイハロップ チヤップ ET	80,303	107,218	2,534	941	53.017	88.010	46.016	0.65	-0.07	0.87	1.50	1.06	1.50	キングホ-イ	スハ-サイ-	5	101	-0.71	◎
5	JP3H57595	ハツレ-加取 マツセイ リフレクタ- ET	85,910	92,723	2,482	691	52.026	87.028	44.022	-0.25	-0.08	0.48	0.68	0.36	1.72	モ-グル	マツセイ	7	102	1.08	◎
6	JP3H57491	ロツクハリスト ハンタ-	59,980	84,714	2,341	710	23.005	92.035	52.029	-0.20	0.47	0.95	0.66	0.58	1.98	ハリスト	マツセイ	6	102	0.57	◎
7	JP3H57527	ハイツチスタ- ハリスト ライザツプ	79,711	97,451	2,273	912	39.002	88.009	47.015	-0.74	0.31	0.19	0.64	0.16	2.19	ハリスト	マツセイ	6	102	0.99	◎
8	JP3H56732	クリンハイツ コスモホリス ET	17,674	94,501	2,217	801	52.020	87.011	44.018	0.31	0.10	0.82	1.12	0.81	1.90	モ-グル	オプサ-バ-	8	98	1.24	◎
9	JP3H57664	トリ-ミ F ベイ- モホ ET	65,179	99,701	2,192	872	47.010	100.016	42.011	1.08	0.39	0.86	0.29	0.68	2.07	モントロス	ブツケム	6	102	0.67	◎
10	JP3H55953	レイバ- ナイガラ ハリツシュ ET	51,665	105,611	2,141	913	45.009	103.021	41.011	0.34	-0.07	0.02	1.16	0.75	1.94	ナイガラ	ジョツナル	10	100	1.62	◎
11	JP3H57663	ライジングサン ベイ- スクラブル ET	48,334	125,857	2,140	1,190	45.001	115.012	40.000	1.10	0.25	1.56	1.10	1.11	1.91	モントロス	ブツケム	7	101	0.77	◎
12	JP3H56985	サウド SS ライオン	83,500	58,728	2,064	287	45.035	60.039	35.027	0.47	0.26	0.52	0.68	0.70	1.60	スハ-サイ-	アルガイタ	5	101	1.42	◎
13	JP3H57091	サニ-フィールド マツチエン バ-リス ET	56,618	24,778	2,041	-74	58.065	9.019	23.026	-0.06	1.00	1.07	0.34	0.48	1.71	マツチエン	フレイズツク	5	101	0.05	◎
14	JP3H57298	ルーンレッツ カニハル ET	47,648	73,537	2,014	526	41.021	79.028	37.021	-0.27	0.21	0.36	1.12	0.49	1.83	レイクイタス-	ス-ダン	8	100	1.49	◎
15	JP3H57255	SEA-LAKE ストーン GT マリスノ	42,310	142,817	1,985	1,563	26.032	134.004	46.004	0.00	0.62	0.70	1.47	0.97	2.70	ハンズ-	ス-ダン	10	100	1.52	◎
16	JP3H56556	モ-ニングヒュー ブツケム ミ ET	68,889	95,975	1,961	881	41.006	83.009	40.010	-0.81	-0.05	-0.14	0.52	0.06	2.31	ブツケム	フアニ-	5	102	0.54	◎
17	JP3H56757	サウド STEPT ロツチ ET	65,527	142,851	1,958	1,492	34.021	124.001	36.012	-0.42	0.21	0.14	0.92	0.34	1.41	トロシ-	ナイガラ	9	101	1.92	◎
18	JP3H57282	RCA ラム コルマン ET	56,982	125,007	1,951	1,359	23.029	118.001	45.000	0.27	0.18	1.02	1.09	0.87	2.35	レイクイタス-	ス-ダン	8	102	0.98	◎
19	JP5H57429	ア-ラバド-スノ-ホ-ル ET	29,933	101,895	1,948	968	27.011	99.019	48.017	0.32	0.41	0.49	0.88	0.82	2.62	レイクイタス-	ス-ダン	8	100	0.90	◎
20	JP3H57714	デイハロップ スタ- P ET	26,024	82,899	1,945	741	39.009	72.009	34.008	0.46	0.55	0.91	0.74	0.63	2.38	ハウ-ホ-ル	ジョツケラス	7	101	1.39	◎
21	JP3H56991	JC ウイテ- エクソド ET	72,140	137,361	1,925	1,420	31.023	132.007	38.008	0.61	0.78	0.74	0.46	0.77	1.94	エイツク	トロシ-	7	101	2.18	◎
22	JP3H55839	アイユ- ナク エリアス ET	60,396	132,014	1,861	1,354	22.028	136.015	44.000	0.19	0.05	0.16	0.26	0.25	1.86	ナイガラ	マスコル	7	101	-0.44	◎
23	JP3H57805	アイユ- SS 元ト-リ- ET	44,337	53,405	1,850	328	41.028	54.022	35.025	0.18	0.18	0.37	0.94	0.57	2.00	シルバ-	ブツケム	8	100	0.43	◎
24	JP3H57708	クインホ-ブ シタ-ン ET	53,911	83,466	1,838	808	32.001	56.004	34.008	0.17	0.66	0.30	0.92	0.77	2.04	シルバ-	スハ-サイ-	6	101	1.51	◎
25	JP3H56864	トリ-ミ クツキ- モンスタ- ハンタ- ET	54,889	152,951	1,837	1,601	49.014	125.008	44.010	-0.16	-0.15	-0.09	-0.76	-0.45	2.35	ハンタ-	フアネット	6	102	0.07	◎
26	JP3H57077	SMF スノ-アングロ-ズ ET	31,123	65,354	1,829	514	39.019	59.013	34.017	0.49	0.17	0.98	0.89	0.84	2.24	マツチエン	スノ-マン	5	100	0.07	◎
27	JP3H56430	メロ- チヤ-ム モ-ニング ET	100,367	102,249	1,816	934	45.011	88.006	32.001	-0.63	0.70	-0.15	0.14	-0.02	1.54	ブツケム	スハ-サイ-	6	102	0.83	◎
28	JP3H56580	クインホ-ル タイムアホ ET	87,989	35,701	1,814	82	39.037	46.033	29.028	-0.66	0.35	-0.42	0.79	0.34	1.66	ブツケム	フアニ-	5	101	-0.53	◎
29	JP5H57164	ラムオ-ク カリア ET	33,451	143,323	1,788	1,400	56.004	109.002	33.012	-1.13	0.00	0.44	0.05	-0.05	1.80	アルタオ-ク	シヤムロツク	6	100	1.76	◎
30	JP3H57071	MK ハイソリ- デス- コツル ET	77,887	69,170	1,785	559	35.014	66.016	35.017	-0.52	-0.21	-0.47	0.60	0.14	1.74	アルタオ-ク	ブツケム	7	101	0.51	◎

※新産牛姓文字係年で表記

【国内種雄牛の購買を希望される方は、毎月15日までに当組合まで注文願います】

◆ 参考情報 ◆

種雄牛別F1スモール市場成績 R3. 2月 (セリ価格:税抜)

千葉家畜市場 令和3年2月8日~2月28日

父 牛	雄			雌			合 計		
	頭数	日齢	価 格	頭数	日齢	価 格	頭数	日齢	価 格
鈴音	12	47	207,750	12	47	211,583	24	47	209,667
夜桜	5	46	211,600	1	48	169,000	6	47	204,500
勝俊久	3	54	221,000	2	55	177,000	5	54	203,400
貴隼桜	6	36	222,333	8	42	174,250	14	39	194,857
秋忠平	82	48	211,683	64	48	172,938	146	48	194,699
美津照重	3	52	209,333	2	52	168,500	5	52	193,000
蓬萊桜	5	54	210,400	7	55	179,714	12	55	192,500
勝夢桜	4	42	225,500	2	39	126,000	6	41	192,333
福増	24	47	203,667	12	51	168,333	36	48	191,889
美津金幸	27	42	195,519	15	48	173,800	42	44	187,762
直太郎	12	54	198,333	7	55	167,857	19	55	187,105
奈津百合55	42	48	195,024	33	51	172,879	75	50	185,280
新岡光81	21	48	201,905	10	49	148,800	31	48	184,774
幸忠栄	104	45	208,250	94	48	155,330	198	46	183,126
花勝久	3	46	187,333	3	51	178,000	6	49	182,667
百合芳	3	42	217,000	6	46	165,333	9	45	182,556
北国関7	11	44	198,636	6	46	151,000	17	45	181,824
勘太	7	46	208,714	3	41	118,667	10	45	181,700
勝美系	25	49	199,160	30	52	166,467	55	50	181,327
百合勝安	26	49	196,731	20	49	160,950	46	49	181,174
関平照	4	52	185,750	3	56	169,667	7	54	178,857
鈴勝平	5	37	198,600	3	40	143,000	8	38	177,750
勝吾	5	55	181,800	5	51	172,000	10	53	176,900
忠勝晴	8	41	181,125	2	46	135,000	10	42	171,900
花靖国	5	52	189,200	7	52	158,857	12	52	171,500
聖香藤	6	53	191,833	7	54	153,000	13	53	170,923
奈津百合1	2	47	172,500	5	51	168,200	7	50	169,429
美津利奈	12	52	180,333	10	49	155,900	22	50	169,227
梅栄福	15	42	184,467	8	43	135,750	23	42	167,522
安福忠	8	47	167,750	3	56	163,333	11	49	166,545
花平国	21	47	186,143	20	51	145,800	41	49	166,463
芳華百合	6	46	175,333	8	42	159,750	14	44	166,429
福久増	6	43	176,833	6	44	154,500	12	44	165,667
百合照重	7	47	179,571	6	47	143,333	13	47	162,846
北茂安93	15	50	184,600	14	50	138,643	29	50	162,414
光彦	2	46	197,500	5	50	146,400	7	49	161,000
愛之国	34	47	165,676	10	52	139,800	44	48	159,795
花国安福	4	44	183,750	4	49	135,250	8	46	159,500
福北光	8	40	171,875	5	48	137,200	13	43	158,538
照重久	3	51	197,333	2	39	100,000	5	46	158,400
舞菊福	10	47	163,900	4	46	134,750	14	47	155,571
知恵久	2	43	158,000	3	49	142,000	5	47	148,400
茂晴国	7	38	136,571	2	52	186,000	9	41	147,556
百合光	3	45	169,000	6	41	117,167	9	42	134,444
光福久	5	46	134,600	3	38	123,000	8	43	130,250
その他	50	46	178,000	52	49	151,250	102	47	164,363
合 計	678	46.6	194,181	540	48.7	159,163	1,218	47.5	178,656

ホルスタイン	357	43	126,039	35	49	107,200	392	43	124,357
ホルスタイン雌のうち繁殖OK				18	53	167,500			
ホルスタイン雌のうちフリーマーチ				17	45	43,353			

※ 交 雑 種 : 販売頭数が5頭未満の種雄牛については「その他」で集計
 セリ価格が20,000円未満の牛は集計から除外
 ホルスタイン: セリ価格が5,000円未満の牛は集計から除外
 但しフリーマーチンは5,000円未満の牛も含め集計

千葉家畜市場HPより引用

初乳粉末製品

GOODSTART PREMIUM

免疫グロブリン
70g/袋以上
含有

初乳が足りない時、イザという時の備えに、
グッドスタートプレミアムが皆さんのお役に立ちます。

○作業性は「3楽」

～溶かすも楽、給与も楽、片付け作業も楽々～

何かと余裕がなく、慌ただしい子牛の分娩。

溶解性に優れているグッドスタートプレミアムを使えばスムーズです。

消化・吸収・機能性に優れた各種成分を配合しました!

良質な
初乳粉末

中鎖脂肪酸

ビタミン
ミネラル

乳酸菌
ビフィズス菌

全卵粉末

製品紹介サイトはこちら



牛用配合飼料

SOYCHLOR

ソイクロール

～ソイクロールで移行期を乗り切ろう～

ソイクロールの特長

エネルギーコントロールのしやすさ

乾乳期の過剰なエネルギー給与は、様々な周産期疾病の一因とされます。ソイクロールは、クローズアップ期の代謝タンパクを充足させながらエネルギーのコントロールがしやすい飼料です。

分娩後の代謝を考えたミネラルバランス (DCAD)

ソイクロールはDCADを適正化させる塩素を強化しつつ、不足しがちなマグネシウムとカルシウムも配合しました。乾乳期のDCADを整えることによって、分娩後の良いスタートを切りましょう。

給与量

●給与推奨量 クローズアップ期にて1頭当たり600g～1kg/日

※詳しくは弊会スタッフまで。

お問い合わせ先



全国酪農業協同組合連合会

札幌支所 011(241)0765	仙台支所 022(221)5381	栃木県事務所 028(889)2871	近畿事務所 0794(62)5441
釧路事務所 0154(52)1232	北東北事務所 019(688)7143	名古屋支所 052(209)5611	三次事務所 0824(68)2133
帯広事務所 0155(37)6051	東京支所 03(5931)8011	大阪支所 06(6305)4196	福岡支所 092(431)8111
道北事務所 01654(2)2368	北関東事務所 027(310)7676	中四国事務所 0868(54)7469	南九州事務所 0986(62)0006